

各地の自然災害で被災された方々、戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。
神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

宝塚栄光教会では次の集会を行っています。どなたでもお越しください。

礼拝 日曜日 午前10:30～11:40

週の初めの日曜日に、神様に礼拝をささげます。讃美歌を歌い、祈りをささげ、聖書から語られるメッセージに耳を傾けます。

子どもチャペル 日曜日 午後1:00～2:00

子どもたちのために聖書のお話が語られます。
楽器を使って一緒に楽しく賛美します。
幼児から中高生が対象です。親子連れでもどうぞ。



キリストを現代に伝える人たち ～小林富次郎(こばやし とみじろう)～

現代の日本経済を支える大手メーカーの中には、クリスチャンが創業した会社があります。歯磨きや洗剤で有名なライオンもその一つです。

ライオンの創業者・小林富次郎(1852-1910)は、埼玉県と野の酒造業者の家に生まれました。25歳で上京し、石鹼製造会社で働き始めます。神戸で勤務していた時、ある芝居小屋でキリスト教の演説会に出席し、クリスチャンの熱心で真面目な態度に感服したことがきっかけで教会に通うようになり、その年のうちに洗礼を受けました。そうしてクリスチャンとして歩み始めて3年経ったとき、不慮の災害に見舞われ、任されていた工場が大被害を受けます。思い詰めた彼は、川に身を投じようとしていますが、ふと脳裏に以前牧師先生から書き送られた「こういうわけで、このように多くの



証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのです」という、聖書の言葉がよみがえってきたのです。どんな逆境の中でも信仰を貫いて生きた先人たちが、自分を励

ましてくれていると確信した彼は、信仰を取り戻しました。そして、奮起して石鹼とマッチ原料を取り次ぐ事業を立ち上げます。さらに、牧師先生から教えていただいた粉歯磨きの製造法をヒントにして、1896年、ライオン歯磨きの製造販売を開始することになり、今の事業につながっていきました。まさに、全て神様が導いてくださった結果でした。思い詰めていたとき、神様は聖書の言葉を思い起こさせ、取り返しのつかないことを防ぎ、守ってくださったのです。その後も真実をもって導いてくださいました。彼の葬儀には、何千人もの人が参列し、その死を悼んだと言われています。彼はまさに、その生涯を通して、神様の愛を人々に現しました。

聖書に、「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です」とあります。私たちの人生には、思いもかけないような失敗や災難が起こります。順風満帆に前に進んでいるときから一転して、逆風が起こり、思うように前に進めないときがやってきます。けれども、どんなときでも、聖書の言葉を心に蓄えている人は、その言葉によって神様からの助けや導きをいただくことができます。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com <https://www.takara-eikou.com>



礼拝 毎週日曜日
10:30～11:40

希望のダイヤル (聖書のお話)
0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

わたしたちは世界平和統一家庭連合(旧・統一協会)、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。

1月6日の寒の入りになると 節分のあたりまで 寒さが本格的になると言われている



強くあれ、雄々しくあれ

新年が明けました。あなたは、この年、どんな夢をもっておられるでしょうか。今年こそ…と目標を立てて、胸を膨らませておられることでしょう。

目標に向けて進んでいくことは大切なことです。ときには、さまざまな妨害が入ったり、壁にぶつかったりして、行く手が遮られることがあるかもしれません。勇気をなくして、諦めてしまいそうになることもあるでしょう。

しかし、聖書の言葉は、そのような私たちを励ましてくれます。「わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたが行くところどこでも、あなたの神、主があなたとともにおられるのだから。」(ヨシュア記1章9節)

これは、旧約聖書の時代、ヨシュアがイスラエルの人々を、神様の約束の地カナンに導き入れなければならないというときに、神様が彼に語られた言葉です。この時、彼は不安でした。何万人という人々をカナンの地

に導き入れなければなりません。しかも彼らは、すぐに心をかたくなにしてしまうような人たちです。若いヨシュアには手に負えそうにありません。

しかし、そのように不安になっている彼を勇気づけたのは、神様の言葉でした。彼はたちまち奮い立って、立派に務めを果たすことができました。

私たちも、勇気を失いかけるとき、この言葉は大きな励ましになります。神様は、私たちがどこへ行くときも、ともにいてくださいます。神様は、私たちを愛してくださり、そのひとり子イエス・キリストを十字架におかけになりました。私たちが罪のために滅びないためです。それほどまでに私たちを愛してくださった神様ですから、私たちを守り支えてくださらないはずがありません。

この神様を信じ、信頼していきましょう。この新しい年も、神様があなたとともにいてくださって、豊かな祝福を与えてくださいますように。



初春 一雪の山を歩くー

一面 雪に覆われてしまった
ここは 高ボッチ山である
目に見えていたものが 雪のため 何も見えなくなってしまった
それでも凜としている 山の様子 その姿に驚く

何度も歩き慣れている道である
目に映るのは 白い雪景色だけだ
何も見えないようにあるが
実は雪の下にあるものが 見えてくるのである

もう少し先に行くと ニョキニョキと 背を延ばしていく草がある
立ち止まって じっと見つめてやると
嬉しそうに体を揺らす 小さな花たち
あのあたりでは 風が強く吹いているのだ
朝陽の中で そんなことを思いながら歩く 楽しさ
穏やかな冬の日差しが 心地よく差している
もう少し先まで 足を延ばそうかと
思案しながら 楽しんで歩いている

わたしの助けは来る 天地を造られた主のもとから
どうか 主が あなたを助けて 足がよろめかないようにし
まどろむことなく 見守ってくださるように